

公開授業	4年組	授業者	田谷 まゆみ
主題名	気持ちよいことばづかい		
資料名	おじさんがおこったのは		
ねらい	「おじさん、おはよう。えへん、仕事に行かなくてもだいじょうぶなのかな。」とあいさつしたことで、おじさんが怒り、自分の思いがうまく伝わらなかったことについて真剣に考える良夫の気持ちを考えることを通して、気持ちよいことばづかいがまわりとの関係に果たす役割を理解させ、時と場合に応じて気持ちよいことばづかいをしようとする心情を育てる。		
	学習活動と主な発問		授業の工夫、観点
導入	<p>「気持ちよいことばづかい」について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>だれかに言われたことばの中で「気持ちいいな」と感じたことはありませんか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ありがとう</li> <li>いい子だね</li> <li>がんばってね。</li> <li>うれしいよ</li> <li>だいじょうぶ</li> <li>やさしいね</li> <li>おはよう</li> </ul> </li> </ul>		<p>日常生活の中での自分のまわりの人のことばから思い起こさせる。</p> <p>どんな思いが伝わってきたかを考えさせて、相手の存在を意識させる。</p>
展開前段	<p>資料の範読をきく。</p> <p>おじさんへのあいさつを、「おじさん、おはよう、いつもありがとう。えへん、仕事に行かなくてもだいじょうぶなのかな。」と、少しおどけて言った良夫には、どんな考えがありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いつものおじさんだから少しぐらいおどけてもいいだろう。</li> <li>ひまなのかなんて聞きにくいから、少しおどけて聞いてみよう。</li> </ul> <p>おじさんににらみつけられたように見えたとき、良夫はどんなことを思ったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言いたいことは言ってくれたらいいのに。</li> <li>あいさつしたのに、どうしてにらむんだ。</li> </ul> <p>おかあさんにも注意され、朝のおじさんへのあいさつについて考えた良夫は、どんなことに気がつきましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ことばづかいがわるかったのか。</li> <li>調子に乗って言ってしまった。</li> </ul> <p>良夫はおじさんとのあいさつから、どんなことがわかったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手のことも考えて、気持ちよく感じることばづかいをしよう。</li> <li>自分の気持ちがきちんと伝わることばづかいをしよう。</li> </ul>		<p>おじさんへの気安さと興味から、おどけることを容認している良夫の自分本位な考えをとらえさせる。</p> <p>良夫の考えが自分自身にもありがちなことに気づかせ、共感させる。</p> <p>自分の不用意なことばづかいに気づかずに、相手の態度に不満をもつ良夫の考えに気づかせる。</p> <p>おじさんが怒り、自分の思いがうまく伝わらなかったことについて、真剣に考える良夫の姿をとらえさせる。</p> <p>原因は良夫のつい調子に乗っていたことばづかいにあったことに気づかせる。</p> <p>最後のおじさんのことばと表情に注目させ、良夫の思いが正しく伝わったことに気づかせる。</p> <p>気持ちよいことばづかいがまわりとの関係に果たす役割をしっかりと理解させ、良夫の考えに共感させる。</p>
展開後段	<p>気持ちよいことばづかいは、どんな働きをしているでしょうか。</p>		<p>「おはよう・ありがとう」などを例にして、実際にことばを交わさせて、互いの思いをとおして、気持ちよいことばづかいの働きを深くとらえさせる。</p>
終末	教師の説話		